

中学生は地域の力



平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」を受けて、大田区では平成24年度より、学校の役割を見直しました。

これまでは「学校避難所」でしたが、「学校防災拠点本部」と名を改めました。地域の代表者が本部長となり、「総括班」「避難所班」「情報班」「地域活動班」の4班体制となります。

学校の教職員も「総務班」「避難所支援班」「生徒班」「救護班」に分かれ、休日や夜間に災害が発生した場合には段階的に参集する体制も組み直しました。地域と学校が一体となって災害に立ち向かう拠点と生まれ変わったわけです。

特に中学生が「地域の力」として、避難所運営に積極的に関わるようになります。東北でも中学生が避難所でボランティアをしている映像を何回も見たことと思います。

平成26年1月11日（土）午前10時30分から大森第十中学校避難所運営訓練を実施します。地域と生徒と一緒に「避難所受入訓練」「受入場所設営訓練」「仮設トイレ設営訓練」「生活用水等確保訓練」「炊き出し訓練」を実施します。地域から多くの皆様に参加していただき、生徒を叱咤激励していただきたいと思います。

（大森第十中学校校長・川上雅次）

東雪谷の空には道がある

羽田空港は幾多の変遷を経て、平成22年10月ついに4本目の滑走路が完成し、再び日本の表玄関に再び咲き大田区の東京国際空港となりました。そこで羽田空港を離着陸するため東雪谷上空に飛来する航空機を4つに大別してみました。

①羽田を離陸して東雪谷の西よりの空を
関西、四国、九州方面に向かう旅客機。

②羽田を基地にしている報道機関および
政府機関所属の主にヘリコプター。

③羽田の管制圏（空港を中心に半径9km円）外側をぎりぎりで行き来する各種航空機。

④大田区内を飛行する必要がある警視庁、消防庁、自衛隊、航空
写真撮影機、報道機関等の航空機。

それでは4つに分けた航空機がどんな飛び方をしているか簡単に説明します。

①羽田で離着陸する旅客機のほとんどが決められたコースを正確に飛行しています。主に関西、四国、九州方面に向かう旅客機が離陸後東京湾上空で高度を取りながら北西に向きを変え東雪谷方面に向かい、ほぼ環八沿いに3000m以上の高度で西に方向を変えながら上昇して行く旅客機が通過しています。②ヘリコプターが羽田に離着陸するため、東雪谷の上空を飛行しています。③各飛行場にはその場所を代表する点（票点）を中心に9kmの半径で円を描き、その内側を航空交通管制圏と言います。その空域内を飛行する航空機は管制機関（管制塔）と無線電話で連絡を取る必要があります。羽田の票点を中心に9kmの円を描くと、東雪谷はほぼ9kmの線上に位置している特別な場所になります。従って中原街道の北側は羽田との連絡が要らず、荏原病院上空では連絡が必要となるため、9km円の外側ぎりぎりを東西に行き来するヘリコプターや小型機がおおよそ350mから600mぐらいの高度で飛行する空の道となっています。④大田区内を飛行する必要がある航空機は通常330m以上の高度で飛行しています。ここしばらくは東雪谷上空の飛行コースの変化はないと思っています。

（東中・佐藤一郎）



スポーツ健康都市宣言記念事業 第30回大田区区民スポーツまつり

雪谷地区9自治会スポーツまつり

平成25年10月6日（日）雪谷小学校校庭において雪谷地区9自治会スポーツまつりが開催され、約1250人もの方々に参加していただきました。関係役員の皆様ありがとうございました。

【優勝】小池自治会 【2位】笹丸自治会 【3位】石川台自治会



雪谷地区自治会連合会
大田区青少年対策雪谷地区委員会

リニア新幹線の説明会に参加して

昨年10月14、17日、雪谷特別出張所でJR東海（東海旅客鉄道株式会社）による中央新幹線（リニア新幹線）の工事に伴う環境影響評価準備書の説明会が開かれました。

当地区に関する中央新幹線のルートは品川を出た後全て地下で、旗の台～上池台1丁目・2丁目～東雪谷1丁目・2丁目～石川町2丁目を通り東玉川方面へ抜けます。時速505km、距離にして286km（トンネル約246km、地上部は約40km）です。説明会では騒音、振動、水、大気等の地域環境に与える影響について「予測値」が示されいずれも大きな影響はないとの説明がありました。

地下トンネル掘削のほか、雪谷地区に関係した最も大きな工事としては、東雪谷1-5-1「警視庁東雪谷住宅」を壊し跡地に直径30m高さ10mの「非常口」を建設するというものです。これは、事故の際に乗客が地上に脱出できるエレベーターや階段を備え、換気や防災の点から5kmの間隔で品川～名古屋市間に設置される計画です。この土地を選んだ理由についてJR東海では、企業用地、公的用地に限定したとしています。

一方、説明会では参加者から多くの質問が出ました。そのほとんどは、「JR東海は環境への影響は小さいとしているが、信用できない」という意見で、なかには憤っていることを感じさせる参加者の意見陳述もあり、予定の時間を越えての説明会となりました。

集まった意見は東京都に送付され、都知事がJR東海に意見を述べることになっています。

（池の台・丸山隆平）

【問い合わせ先】東海旅客鉄道株式会社

環境保全事務所（東京）03-5462-2781 <http://jr-central.co.jp/>

（受付時間：土・日・祝日・年末年始を除く平日9時～17時）

編集後記

明けまして、おめでとうございます。「ふれあい雪谷」の編集委員は、新旧交代をくり返しながら、多くの人々との支えにより、地域紙としての情報を提供してまいりました。この度、新たな編集委員として、南健治郎さんから秋山一雄さん（東中自治会）、田中紀子さんから田上潤一さん（上池上自治会）が就任しました。前任の編集委員の皆様ありがとうございました。

編集委員の任務は「地域による、地域のための」情報紙作りにあります。これからも皆様からの編集への助言、要望、投稿をお待ちしています。

（南雪谷・立麻裕穂）

ふれあい雪谷（創刊・平成2年（1990）12月20日）年4回発行

（1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお号／10月・もみじ号／の1日発行）

【発行日】平成26年（2014年）新年号 1月1日（通巻・第93号）発行

【発行】地域力推進雪谷地区委員会 【編集】「ふれあい雪谷」編集委員会

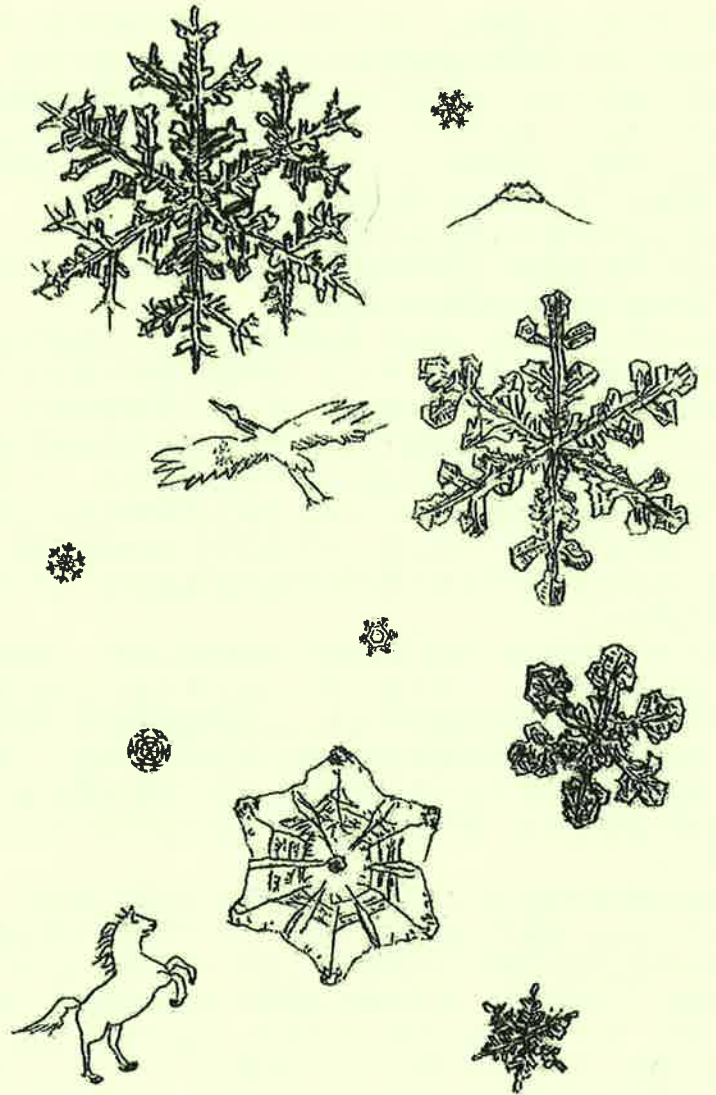
【連絡先】雪谷特別出張所

〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話3729-5117 FAX3729-1826

http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_yukigaya/index.html

ふれあい 雪谷

平成26年 1月 新年号 通巻第93号



東中 M.Aさんの作品

新春のお慶びを 申し上げます

本厚会

「新年の吟」



初天神 千の絵馬あり 千の額

金子 千枝子

亭主のみ 推びに和服 初点前

近藤 みよ

初富士に 雪の稜線 くつきりと

野々村 とみえ

初雲や 松備景に 二重橋

大山 順一

満を持し 元旦からの 初稽古

藤原 志水

飼犬とひと廻りして 初詣

村田 耕作

池の面を 染めて美人は 初菫

吉川 仁

初日の出 光芒すでに ツリーを射

吉田 文佐

新・旧雪谷つ子

祖父の始めた自営業が私の代で100年を迎える事を考えると、随分長く雪谷石川台地区にお世話になっていきます。私自身、生まれて42年間、とても快適に暮らしています。

小学生の頃は近隣の公園が主な遊び場所でした。雪谷八幡神社・東調布交通公園・階段公園にターザン公園(正式名称は知らない)は言うまでもなし。東雪谷5丁目の水神橋に抜ける、階段脇の粘土山と呼ばれる所にあった横穴(防空壕?)・石川町の都営住宅脇に通じていた東工大の地下通路等々、公園以外にも出足し遊んだ(荒した)のを思い出します。洗足池でザリガニ釣り、多摩川でフナ釣りなどもしていました。

当時の青年会(現在は年輩の方々)の行事で潮干狩りや鮎の掴みどりなどいろいろな所に遊びに連れて行って頂きました。子どもが大勢いたため参加者も多く、何台かのバスに分乗して行った記憶があります。当時の子ども達は私を含め、とても聞き分けの良いおとなしい子達だったので引率するのにとても楽で助かったと聞いています。

そんな私も今は青年会を経て、自治会の運営を微力ながら手伝わせて頂いています。昨年青年部の企画で地域の子ども達をアスレチック公園に連れて行きました。今の雪谷に住む小学生達は本当に聞き分けが良く行儀が良く助かったと、言い伝えたいと思います。



(石川台・豊田智久)

知っていますか？ボーイスカウトのこと

ボーイスカウト運動は、1907年にイギリスで始まりました。始めたのはイギリス陸軍の退役将軍バーデン・パウエル卿ですが、彼は子供たちを軍人として育てるためにボーイスカウト運動を始めた訳ではありません。軍人としての経験をもとに、野外教育を通じて少年たちが男らしさを身につけ、将来社会に役立つ人間に成長することを願ってはじめられたものです。

日本では1909年4月広島にあった少年団の1つが、ボーイスカウトのやり方を採用し活動を始め、1922年には後藤新平を総長として少年団日本連盟が結成されました。

ボーイスカウトでは、班制度・進歩制度という2つの制度を活用し子供たちを導いてゆきます。班とは、子供たち自身が運営する自治組織で、フォローシップを体験しリーダーシップを学びます。ボーイスカウト活動中の生活の場であり、学びの場でもある班の班長・次長や他の役割は、班員の互選によって決められます。これが班制度です。幼稚園の年長(ビーバースカウト)から始まり、カブスカウト・ボーイスカウト・ベンチャースカウトとその年代に応じた、一貫したプログラムで子供たちの生きる力を育みます。これが進歩制度です。

ボーイスカウトは「見えない学力」を伸ばします。「見える学力」を花とするなら、「見えない学力」は土壌です。この土壌が豊かでなければ大きな花は咲きません。人の話を聞き自分の考えが言え、手伝いなどの役割が果たせ規則正しい生活が出来る。「我慢する・挑戦する・工夫する・違いを受け入れる・相手を認める」ことの出来る子供たちを、遊びを通して育ててゆくのがボーイスカウトなのです。

今年の夏は日本中のスカウトが、山口県きらら浜に集まり「日本ジャンボリー」を催行しました。2年後の2015年夏には同じ場所で世界中のスカウトが集まる「世界ジャンボリー」が開催されます。

私達の「つばさ地区」は大田区12個団と品川区4個団とで構成されており、私は大田7団に所属しています。大田7団は、洗足池の桜山等で活動していますので見かけたら声をかけてください。お伝えしたいことは尽きないのですが今回はこのくらいにしておきます。

(日本ボーイスカウト東京連盟つばさ地区組織拡充委員長・小池 田島道治)

行政と自治会・町会に 関わる会議について

大田区には217の自治会・町会が有ります。それぞれの自治会・町会は独自性をもって活動していますが、共通の話題や意見交換等は区内の18特別出張所単位で構成された地区委員会や区全体の会議で取り上げています。会議の名称は、地域力推進会議と自治会連合会の2つが有ります。雪谷特別出張所地区でも9つの自治会と雪谷特別出張所とで地域力推進雪谷地区委員会と雪谷地区自治会連合会が有り定期的に開催しています。

○地域力推進雪谷地区委員会とは

雪谷地区自治会連合会を中心とした地域団体と区、警察、消防等の関係者が連携・協働して雪谷地区の特色を生かした地域社会を創ることを目指し、地域の課題に取り組むための情報の交換、提供をしたり、また各地域団体からの報告や意見を基に行政の施策へ反映させるための会議です。

○雪谷地区自治会連合会とは

雪谷地区の9つの自治会長と事務局で構成されそれぞれの地域の結びつきを深め、また活性化や安全・安心な街づくりのための防犯・防火・防災訓練・交通安全・祭り・清掃・イベント等地域生活に密着した活動を行っています。

最近、地域力推進雪谷地区委員会で各自自治会の行事の紹介が少なくなっています。これからは時間をなるべくとりたいたいと思いますのでよろしくお願いします。

(東雪・永久保孝治)



後列左から、小松会長(希望ヶ丘)、金子会長(石川台)、森井会長(小池)、海老澤会長(上池上)
前列左から、田中会長(東中)、石井会長(池の台)、永久保会長(東雪)、内山会長(南雪谷)、森下会長(笹丸)

お祭りを終えて

「わつしよい」「ソイヤー」「ドン・カッ、ドン・カッ」。荒天の中、巡行は短縮されたものの、威勢の良い掛け声や山車から響く太鼓の音で昨年の祭りは盛り上がり無事終了することができました。祭礼委員として、担ぎ手の皆さん、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

ここ数年若手委員が少しずつ祭礼を取り仕切るようになっていきます。また、地元自治会以外からの担ぎ手の参加も増加しています。どちらも今後の祭礼を考える上で重要な点です。そもそも、祭礼とは宗教的な要素はあるものの、防災や餅つき、スポーツまつりなど地域活動の一環であると考えています。様々な、地域交流、を通して顔が見える、何となくの安心感、を醸成するものではないでしょうか。笹丸の祭礼では、数年前から土曜日に南宮神輿が巡行しています。窓や玄関先から顔を出してくれる方が増えてきているように感じます。声を掛け合うことで、何となく、顔が見えてきているような気がします。

運営面では、先輩は経験をもとに若手に適切な助言を、若手はこれまでの実績を踏まえ、互いを信頼し更に次の世代に関係を広げ、積み残されている課題を少しずつ変革する。地元の担ぎ手が少ない現状を踏まえ、様々な連携を駆使して顔の見える仲間を呼び。たかが祭りされど祭り、おらが祭に留まらない、広い視野での運営を目指せばと思います。

さて、今年9月は5年に一度の連合神輿、言うは易し行は難し。いすれにしろ、知り合いの知り合いは皆知り合い！楽しんでいきましょう！

(笹丸・森下繁)

新自治会連合会会長
就任のご挨拶

